3-⑥ パーフェクトな出発

＜パーフェクトな出発＞

誰でも、先ずみずから求めないかぎり、心底からそのつもりで求めないかぎり、なにものも与えられないというのは霊的かつ宇宙的な法則である。生を解放するもろもろの事実に抵抗するのは、それらをすでに理解している

霊的かつ宇宙的なアイディアに初めて遭遇したとき、あなたはそれらの理解を求められはしない。

どだいあなたにどうして理解などできよう。あなたはただ健康な好奇心で観察し、より深く知ろうと欲するだけでいい。こうした正気の、良識的なアプローチが常に利益をもたらしてくれる。

ブラウニング、テニスン、ワーズワース、ホイットマンなどの詩が立証するように、間接的に象徴的に提示されたときに、心は、いちばんよく真理のにじんだアイディアを受容できる。これらの詩人の叡智は、条件づけられ

それゆえ、われわれの最初にしなければならない作業のひとつは、受容しようと努めることではなく、受容への障得を取り除くことである。そうした障碍とは、たとえばネガティブな色合いの想像、機械的な反応、コチコチ

間違ったものを受容しないことが、正しいものへの受容力を築いてくる。ネガティブな影響力に歓迎の意を表してはならない。あなたにとって間違っていると感じとれたものに対しては、なんにかぎらず、断乎として否と言

われわれは際立って技巧を凝らしたものは大抵"インチキ"であるということが分らないから、人の颯爽とした知恵者ぶりに感歎しがちである。だが、やがて叡智と強さがあなたにはついてくる。若木は嵐から護られなけれ

Q自分に受け容れる用意があるかないか、どうすればわたしに分りましょうか?

Aあなたが、まったく惨めな大失敗に、じゅうぶん素直に号泣する気持でいるときは、受け容れる用意のあることが自分でも分るでしょう。ただし、隠れて泣かなくてはなりません、人前で泣いてはなりません。

Q わたしは自分の内部にある特別な抵抗があるのを発見したとじています。自分が誤っているといわれると防衛的になるのです。なぜでしょう?

Aあなたが誤っているというのが本当か、あるいは本当でないか、どちらかですね。もし感情に動かされずに、あなたが誤っていることが分った場合はあなたに問題はなく、自分を弁護したりはしないでしょう。しかしあな

Qでもすることが多すぎて・・・・・・

Aしなければならないことはやれます。それを大袈裟にしないことです。あなたの内部に矯正されなければならないなにかがある、とのことにまず気づきなさい、それが第一歩です。あなたの場合、それがパーフェクトな出

自分そのものが自分に対して問題を起としているのだと感じても、それは無視してしまうのだ。あなた自身が問題であるなしにかかわらず、あなたの内部にはいつもかすかな閃光を発しつづけているなにものかが在るのだが

あらゆる人の知的な心には、そこへ通じる決して閉ざされることのないドアがある、このドアから造物主は入ってくる。そして絶対真理の探究者であるところの知性が、あるいは絶対善の熱愛者であるところの精神が、そこ

あなたが真実を選ぶとき、真実はあなたを選ぶのだ。

Revision #2
Created 17 October 2024 05:17:39 by ゆう
Updated 27 October 2024 05:49:59 by ゆう